



『第1回いなざわ手話フェスティバル』に JRC 部が出演しました！

いなざわ

第1回 いなざわ手話フェスティバル

～広めよう手話言語！ つなげよう未来！～

日時 **令和元年 12月21日(土) 10:00～11:30**

場所 **名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)中ホール**

プログラム

- 1 オープニングセレモニー
- 2 杏和高等学校JRC部による手話パフォーマンス
『That's our hope』～手話言語条例制定後の今～
差別と偏見の中で生きてきた時代と条例施行後の現在におけるろう者の暮らしの変化、そして、より一層暮らしやすい社会となるような提案を演技とダンスで披露します。
- 3 ショートムービーの上映
「聞こえない大学生の日常～手話とともに～」
- 4 ろう者のお話
ろう者にとって手話言語とは何か…条例制定後の社会に望むことは何か…etc.
手話言語にまつわるお話を伺います。
- 5 ミニ手話講座
日常生活で使える手話を学んでみましょう。

令和元年度実施事業

夏休み親子手話教室の様子

障害者支援用パンダナ

たくさんのお友達も参加してくれました！

障害者の補助に役立ちます

主催 稲沢市



12月21日(土)、名古屋文理大学文化フォーラムで行われた『第1回いなざわ手話フェスティバル』にJRC部が出演しました。このイベントは、障がいがあるなしにかかわらず、すべての市民が共に支えあう稲沢市を目指し施行された『稲沢市手話言語条例』の1周年を記念して行われました。

『That's our hope. ～手話言語条例制定後の今～』と題して、耳の聞こえない人の60年前の体験と現在の様子を、手話劇と手話歌で披露しました。

JRC部では、日頃、手話サークルのろう者の方に手話講習会を開いて頂き、手話で日常会話ができるように勉強しています。そして、各所で手話パフォーマンスを披露し、手話を広める活動をしています。

皆さんも、手話を覚えてみませんか？

